

令和 2 年度 第 1 回

四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 議事要旨

## 開催概要

日 時	令和2年12月2日(水) 18:00~19:70
場 所	四万十町役場東庁舎1階 多目的大ホール
次 第	1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 (1) 各種事業の中間報告 (2) 来年度の取り組み内容と予算について 4. その他 (1) 文化的施設との連携による中心市街地活性化について 5. 閉会
配布資料	・ 令和2年度 第1回 四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 次第 ・ 四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 委員名簿 ・ 四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会設置要綱 ・ 四万十町窪川地域中心市街地活性化計画 ・ 資料1: 各種事業の進捗状況と今年度の取り組み内容 ・ 資料2: 来年度の取り組み内容と予算 ・ 資料3: 文化的施設との連携による中心市街地活性化
出席者 ※敬称略	八木 雅昭(社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会 会長) 池田 十三生(一般社団法人四万十町観光協会 会長) 泉 茂(株式会社高知銀行 窪川支店長) 窪 博正(岩本寺住職/しまんと街おこし応援団 団長) 西村 秀次(窪川中学校PTA 会長) 森 武士(四万十町 副町長) 山本 倫嗣(高知県商工労働部経営支援課 課長) 吉岡 真佐人(株式会社四万十交通 代表取締役) 荒川 伸雄(窪川街分区長会 会長)
欠席者 ※敬称略	武田 秀義(四万十町商工会 会長) 森田 健嗣(高知県産業振興推進部 地域産業振興監[高幡地域担当]) 山岡 義正(有限会社山岡商店 代表取締役)
オブザーバー ※敬称略	塚本 裕司(高知県商工労働部経営支援課 チーフ) 鍋島 由子(高知県商工労働部経営支援課 主査) 池田 菜美(高幡地域本部 地域支援企画員) 谷口 沙希(四万十町商工会 創業支援員) 山本 康雄(企画課 課長) 大元 学(企画課まちづくり推進室 室長) 林 瑞穂(四万十町教育委員会生涯学習課 課長) 味元 伸二郎(四万十町教育委員会生涯学習課 副課長) 西尾 洋亮(四万十町教育委員会生涯学習課 主査)

---

事務局

植村 有三（にぎわい創出課 課長）

武井 秀樹（にぎわい創出課 副課長）

嶋岡 茉美（にぎわい創出課 主任）

松本 優希（にぎわい創出課 地域おこし協力隊）

## 協議概要

### 1. 開会

委員 12 名中 9 名の出席により会議が成立することを報告し、開会を宣言。

### 2. 挨拶

副会長

みなさんこんばんは。

本日は、本年度第 1 回目の会となる。夜間の会となるため、効率的に進行していきたいと思う。ご協力よろしく申し上げます。

会長は本日欠席とのことなので、私の方で進行を進めさせて頂く。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、毎日マスクを着けて仕事をしたり、生活をしたりしているが、最近では高知県でも感染者が増加しており、本日は 8 名の方が感染されたと報道されている。インフルエンザの時期にもなってくるため、お互い気を付けながら春を迎えたいと思っている。

さて、四万十町の現状についてだが、来年春で合併 15 年を迎えようとしている。当時 22,000 人を超えていた人口は、現在 16,500 人となっており、約 5,000 人の減少となっている。人口ビジョンでは 2040 年には人口が 1 万人になるのではないかと推計されている。まちなかも家になったり、駐車場になったりしており、随分変化してきたと思う。少子高齢化が進む中、市街地の活性化には難しい課題があるが、私たちがこの町で暮らしていく中では欠かせない取組みとなる。そういった意味で今日の会が有意義な会となればと考えている。よろしく申し上げます。

※各委員より自己紹介。

### 3. 議事

#### (1) 各種事業の中間報告

※事務局より資料 1 の説明。

副会長

新型コロナウイルスの影響で、上半期の取り組みについては停滞しているものもあるが、質問・ご意見があればお願いしたい。

委員

感想を含めて発言させて頂く。

古書街道については、ケーブルテレビ等でも紹介されているが、関係者が非常に努力なされていると感じた。先ほど事務局より、当初 40,010 冊集めるという目標に対し、30,000 冊の本が集まっているということ、3 号店についても開店に向けた目途が立ってきたということの説明があったが、関係者の努力によるものだと感じた。

また、くぼかわ街あかりプロジェクトの灯籠の試作品のことについては少し気になった点がある。素人が制作したということで品質の向上を目指し

	たいと、問題・課題に記載されているが、質を高めるための方策は何かあるのか。アドバイザーとしてどなたかを招聘する等のことは考えられているのか。
事務局	まち明かり事業に取り組んでいる方の知り合いに、木工関係の仕事に就かれている方がおり、その方からアドバイスをもらう等して品質の向上に取り組んでいく予定であると伺っている。
委員	チャレンジショップ事業の所で、空き店舗はあるが貸してくれない店舗が多いとの説明があったが、貸してもらえない理由は何か。
事務局	例えば1階が店舗で空いていて、その店舗の大家さんが2階に住んでいた場合、1階の店舗に荷物が置かれていたり、自宅の一角を見ず知らずの人に貸すということに対して抵抗感があったりする。また、常に住んでいる訳ではないがお盆やお正月には帰省する方もいらっしゃる、様々な理由で貸しにくい状況があるようである。
委員	くぼかわ案内 MAP について良いものができたとは思いますが、場所的に車が止まって見ることもできないし、立ち止まって見るにしても道を挟んで見なければならない等、気づかれにくい場所にあると思う。もう少し他の場所にあっても良いのではないかと思う。
委員	自分もその点については聞きたかった。 観光列車が来る度に駅には行くが、気がつかなかった。
委員	車も横付けできないし、気づかれぬと思う。
事務局	場所については、色々と検討はされたようだが、駅をまっすぐ出てすぐに目に入る所にあった方が観光客の方にもわかりやすく良いのではないかと考え、この場所にしたいと伺っている。
委員	少しもったいないと感じた。
委員	設置したものの移動は難しいと思う。かなり前になるが、以前 JR と役場の敷地の間に駐車場があり、そこに大分大きな看板があった。そういったものがあれば、見やすいと思う。
委員	前にも言ったと思うが、くぼかわ街あかりプロジェクトにしても駐車場の案内等は一緒にやっているのか。広報する上で、街分に住んでいる方は気軽に歩いて行けると思うが、まちから離れてしまうとどうしても車移動になってしまう。そうすると、金太郎夜市等でも同じだが、行きたくてもどこに車を止めればいいのか、となってしまう。拠点となる駐車場を確保して、そこに車を止めてもらってまちの散策に出かけてもらう、という方向性が一番理想だと思う。そしてその駐車場に先程の案内 MAP があればなお良いのではないか。
事務局	駐車場の問題は、以前から大きな課題となっているが、今のところ駐車場

のご案内まではできていない状況である。できれば公共交通機関を使って四万十町に来て頂き、まちを散策してもらいたいという思いもある。また、最近はコロナの関係もあり、自家用車やレンタカーで来られる方も増えているため、検討していきたいと思うが駐車場にすることのできる場所もなかなか無い状況である。

委員 民が一生懸命やってもなかなか前に進められない部分もあるため、官の方でも協力して頂ければと思う。理想的な場所はまだわからないが。

事務局 今後の課題として検討を進めていきたいと思う。

委員 岩本寺の周辺にも広い土地があるのではないか。

委員 コロナの影響により公共交通機関で来る人は激減している。お遍路さんもほとんどの方がマイカーで来られている。駐車場問題は確かにあると思う。

委員 マイカーで来られた多くの方から「車を止める場所は無いですか?」「コンビニは近くにないですか?」といった質問を受けている。列車で来られた方に関しては、以前も話に出ていたコインロッカーの問題もある。同時進行で検討して頂ければと思う。

副会長 沢山の事業があるが全方位的ではなく、ある程度メインのターゲットを絞らないと集約も難しいと思う。事業をする時にターゲットに応じてどのような環境が必要なのかも考えてもらえたらと思う。

委員 くぼかわの体験型観光事業について、モニターツアーができていないとのことだが、観光列車の関係で沢山のメディアをJRさんが連れてきており、岡山や広島、関西圏、首都圏からも窪川を紹介するという形で沢山の方に来てもらっている。そのため、コロナウイルスのために止まってしまうとなると前に進んでいかなくなってしまうので、対策をしながらなるべく進めてもらえればと思う。

くぼかわ案内 MAP について、看板を立てられたとのことだったが私は内容も知らなかった。観光協会等の関係機関と協議はしたのか。

駐車場の問題は、田んぼ等いくらでも車を止められるところはあると思っているが、よそから来る人からは駐車場はありますか、と聞かれる。例えば遠山でもイベントをやる際に駐車場を聞かれることがある。車を止めるところはきちっとしれないと人は呼べないと思う。

事務局 委員よりご質問のあった点について、お答えさせて頂く。

くぼかわ案内 MAP については、観光協会の事務局の方へ場所や内容等についてご説明した上で設置させて頂いている。もちろん、四万十交通さんにも社長にご相談した上で設置させて頂いた。

他の委員からも場所についてのご意見があったが、これから応援団の方ともお話をさせて頂いて目に付くような形にしたり、この後ご説明させて頂

	く予定だが来年度看板の内容をチラシにしてお配りしたり、目立つような形で活用していきたいと考えている。
委員	看板を2枚、3枚作るのではなく、チラシだけ作るのか。
事務局	これからの取り組みだが、来年についてはチラシを作成し、その後の展開についてはまた考えていくことになると思う。
委員	<p>看板の件については、看板の右側に掲載許可の取れた飲食店の名前と電話番号を載せている。来年度はMAPに掲載している飲食店の場所が特定できるようにシールを作り、飲食店や旅館等に協力頂き配布しようと考えている。</p> <p>看板は四万十交通さんにご協力頂き、あの場所に設置することができた。初めは役場の掲示板の裏面が良いのではないかとの話があったが、そこは許可が難しいとの話があり、今の場所となった。観光列車が来るということもあり、何とか駅前に看板がほしいということで今回設置したところである。</p> <p>また、モニターツアーについては開催している。東京でインバウンド等の観光政策に携わっている会社があり、外務省のOBの方が役員を務めている。こちらの会社等より4名の方に来て頂き、色々なご意見を頂いた。現在、アンケートをまとめている状況であり、まとまり次第事務局へ提出する予定である。</p>
副会長	<p>その他ご意見はないか。</p> <p style="text-align: center;">(意見なし)</p> <p>それでは次の議事に移りたいと思う。</p>

## (2) 来年度の取り組み内容と予算について

※事務局より資料2の説明。

事務局	<p>1点だけ補足させて頂きたい。</p> <p>資料2の新規事業(シェアキッチン)についてだが、これについては協議会のワーキンググループを兼ねるしまんと街おこし応援団より事業として掲載してもらいたいとの話があり、現在調整を進めている。詳細な内容等が確定したら来年度の協議会の事業としてお認め頂きたいと考えている。よろしく申し上げます。</p>
副会長	令和3年度の事業の内容及び予算の概要について説明があったが、ご質問があったらお願いしたい。
委員	パンフレットの印刷は何部という説明だったか。
事務局	部数までは伺っていないが、金額としては25,000円が要望されている。

委員	25,000 円ではあまり多くの部数は印刷できないのではないかと。ぜひ観光協会の会長も加わってパンフレットづくりをお願いしたい。
副会長	<p>どういう目的で使うかによって大きさやスタイルが違ってくると思う。その辺りは検討頂きたい。まち歩きをする際に使うパンフレットとしたら枚数は必要なのではないかと。</p> <p>予算の概要が示されたので、予算と事業計画の両輪のバランスがうまく取れているのかも含めてご意見を頂きたい。</p> <p>しまんと古書街道について伺いたい。</p> <p>古書店 1 号店がオープンしているが、利用状況はどのような状況か。例えば町民の方・町外の方どちらの利用が多いのか、どの年代の層が利用しているのか等について教えてもらいたい。</p>
事務局	利用者の多い年代については、多様な年代の方々が来られているとは聞いているが 50～60 代の方が多いと伺っている。町内外からの来店状況については、高知新聞等を通じて情報発信をされていることから、わざわざ本を買いに町外からいらっしゃる方もおられると聞いている。
委員	体験型観光事業について、今後商品開発をしていくとあるが、どのような方向性なのか。
委員	<p>今後の方向性については、中心市街地の活性化のための取り組みであることから中心市街地を絡めたコースを考えている。例えば宿泊してもらおうのであれば、中心市街地にある宿に泊まってもらい郊外の方に来て頂くことを考えている。中心市街地だけに特化するのではなく、町内にはたくさんのポテンシャルがあるので、中心市街地を絡めながら他の場所にも行って頂くようなものと考えている。</p> <p>この前のモニターツアーでは、美馬旅館や岩本寺に泊まってもらった上で、郊外にある沈下橋の見学や塩づくり体験等をしてもらうコースを企画し、実際に体験して頂いた。</p> <p>このような方向性を考えているため、連携できるところはしっかりと連携させてもらえればと思う。</p>
委員	<p>一泊してもらって観光してもらおうということは大事だと思う。色々ものはあるので、それをどうやって上手くつなぎ合わせていくかという所だと思う。新しいものも必要かもしれないし、古いものも大事にしていかねばならないと思う。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
副会長	観光列車が来るので整備したら良いということで、呼坂峠も整備がなされる予定である。呼坂峠にはどれくらいの方が足を運んでいるのか。自分も一回行ってみたいと思っている。

委員	12/15 には高知県のボランティアガイド連絡協議会というところが西部地区の研修を行う予定である。呼坂峠や仁井田の牧野富太郎ゆかりの宿、維新の志士がお店を開いていた場所や西郷隆盛を応援していた堀内誠之進という人がいたり、窪川には沢山の歴史資源がある。看板は大きく、両方の入口と峠のところに作ってもらいたい。
委員	<p>ちょうど今日、町長を交えて来年度の予算の話をしていた。先ほど、事務局からも少し説明があったが、コワーキングスペースについては商店街の中の空き家を利用して、にぎわいを取り戻し移住者等の交流の機会をつくる地域の交流拠点としての位置づけでの整備を検討している。</p> <p>事業の中に位置づけられているにぎわい拠点づくりについては、予算措置が無い。コワーキングスペースとこのにぎわい拠点を被らせることはできないか。</p>
事務局	<p>事業計画に挙げられているにぎわい拠点づくりについては、しまんと街おこし応援団の方で駅前のゲストハウス等を活用してにぎわい拠点づくりをしていく、ということで計画されている。そのため、まずはそちらを優先に取り組んで頂くことを考えている。</p> <p>コワーキングスペースの整備については連携しながら取り組んでいく方向で検討することはできると思うが、現在位置付けられているにぎわい拠点づくりについては当初の内容で取り組んでもらい、コワーキングスペースの方は町の方でまた別の予算付けをしていきたいと考えている。</p>
副会長	<p>中心市街地の活性化については、全方位的に考えるよりは、入ってくる人口を増やしていく方向で考えていかないと難しいのではないかなと思う。</p> <p>現在観光列車が走っているが、上り下りの列車の間隔は 30 分程度しかない。11 月の 3 連休では上り・下りのどちらか一方で観光列車を利用しているケースもある。四万十町の良さを売り込んでいかないと、大手の旅行会社が作ったものでは、なかなか地元で足を運んでもらえない。そういった点も含めて取り組む必要があると思う。</p>
委員	<p>列車に乗る人は列車を降りた後の行動を決めてきている。切符を買う前に四万十町の商品を売り込まないと話にならない、という意見は観光協会との話の中でも出ていた。商工会を通じて色々なところに商品を売り込もうという話にはなっているようである。JR の窓口はこの商品を置くのは、JR としてもなぜこの商品だけ、となってしまうので許可が出ないと思うが、切符を買う前の方になんとかこの商品を PR することが課題だと思う。「商店を周ってみることも意見として出てはいたが、まだそこまではできていない状況である。</p>
副会長	<p>せっかく窪川まで来られるので、ただ帰すのではなく、なんとかつなげていきたい。</p>

委員	駅前で紹介したところで、全く話にならない。
副会長	旅行会社に売り込んでいくということもしていかないと、来た人にだけ PR してもまちなかに来てもらうのは難しい。今後考えていってもらいたい。
委員	JR の方からはお寺と半平をつないでまち歩きをしてもらいたいという話は来ている。しかし、年齢層の問題もある。結構高齢の方も来ているため、そんなに距離を歩けない方もいらっしゃる。
副会長	他にご意見、ご質問はないか。  (意見なし) では、意見もないようなので、議事はこれで終了とし、進行は事務局にお返しさせていただきます。
事務局	ありがとうございました。では、「その他」に移らせて頂く。

#### 4. その他

##### (1) 文化的施設との連携による中心市街地活性化について

※事務局より資料3の説明。

委員	まち歩きをするときに思うのが、皆さん花を飾る等、店の周りや家の周りを非常にきれいにしている。一方で旧商工会館等の危険な建物もいくつかある。そのようなものは今後どうしていく予定なのか。
副会長	町内には古い建物や危険な建物が建っている。持ち主と町が話し合いをして危険なものについては改善してもらおうという流れになるのか。
委員	旧商工会館については私よりお答えさせて頂く。 本日、会長は欠席されているが、町の方も取壊しに向けて商工会と協議をしている。いつの時点で取り壊すのかというところまでは決まっていないが、当然危険な建物であるし、土地の有効活用という観点からも遠くない将来において取り壊して活用していきたいと考えている。 町内の古い家屋については、取り壊しのための助成事業が沢山ある。持ち主の方の意向が最優先されるが、危険家屋については持ち主の承認が得られれば随時、対応している。
副会長	小学校の近くにも危険な状態の建物がある。気持ち良くまちを歩いてもらうためには、危険な建物の整備はしていく必要があると思う。取り組みを進めて頂ければと思う。 今後はある程度、的を絞って整備していかなければ、お客さんが散らばってしまう。岩本寺と旧都築邸がある通りはやはり門前町なので、そういった観点から整備することを考えるのも一つの方法ではないか。また、あっちもこっちも来てほしい気持ちはわかるが、文化的施設もできるのでポイン

	トを絞って計画していく必要がある。
委員	<p>窪川という町は移住者で成り立ったような町である。鎌倉やあちこちの豪族がやってきてできてきた経緯がある。窪川は住みやすいまちとして移住者を増やしてもらいたい。</p> <p>橋本大二郎氏が県立美術館を作った時にはシャガールの絵を購入された。ああいったもので集客するということも考えられる。文化的施設ではそのようなことは考えていないのか。</p>
委員	<p>700万円以上のものについては議会の議決が必要となるので、なかなか難しいと思う。美術館の方には四万十町出身の有名な方々の作品があるが、現状では展示ができておらず倉庫に仕舞われたままとなっている。今回建設を予定している文化的施設は単なる図書館、美術館ではない。地域の方のコミュニティスペースや交流空間としての機能も全面に打ち出しながら進めている。町としては今持っている宝をしっかりと活用し、町民の方に見て頂きたいと考えている。</p>
副会長	<p>文化的施設については、まだまだ町民に十分に浸透していないと思う。この施設がまちの活性化に向けて相乗効果を生んでいくよう、行政任せやある一部の人任せではなく町民が関われるように議会も含めて連携して頂きたい。</p>
事務局	<p>それでは本日の内容は以上となるため、これにて閉会させて頂く。次回は令和3年3月頃を予定している。次回もよろしくお願いいたします。</p> <p>(※次回については、夜間ではなく昼間開催を予定)</p>

以上